

# 専攻建築士紹介



高松建築設計工房

**高松 隆**

〔生産専攻〕

## 身をもって学び啓蒙する

1級建築士の資格を取得以前より、建築生産活動に従事していた自分（当時、2級建築士）の心の中に、建築士であることの空虚感が漂い始めた頃、一念発起で1級建築士にチャレンジし、1級建築士の資格を取得後、建築士として活動するにしても、個人では限界もあると思う、即、建築士会に入会しました。CPD制度・専攻建築士制度も、発足に伴い「専攻建築士」に登録をしました。

私は建築士として、小さなリフォーム工事から新築工事等々でユーザーと接する機会も多く、ユーザーの方々の限りある予算の中で、ユーザーに不利にならないよう、満足して頂けることを信条として生産活動をしていました。リフォームにしても、新築工事にしても、家造りの生産者の立場として、引渡りの時の「お世話になりました」と感謝の言葉？を頂くたびに、建築士という立場を自覚し、心の糧にして日々努力しています。

昨年末よりの、構造偽装問題に端を発した建築士を取り巻く諸問題は、私達、建築士の資質を問われているようです。

建築士として、ユーザーの方々に頼られる存在である以上、日々発信される膨大な情報や、日進月歩進化し続ける知識や技術の中から必要な情報を、身をもって学び、建築士としての能力開発（CPD）は不可欠なものと思います。

偽装を起した某建築士のように、人間一人では己に負けてしまいます。仲間とのコミュニケーションによって問題解決の道も探せることと思います。

私にとって建築士会に入会しCPD制度・専攻建築士制度に参加したということは、仲間とのコミュニケーションやCPDにより、日常的に知識や技術を習得、蓄積し、ユーザーの住い造りの際に後悔することのないよう、啓蒙活動の一翼を担うことが出来るのではないかと思います。